

本誌の使い方

本誌は実際の学校現場で想定される場면을、5つのテーマに分け、見開き1テーマで回答例を100本掲載しています。誌面は「予想質問」「書き込み欄」「ポイント」「回答例」「ミニ解説」で構成しています。

※本誌は小学校を想定した場面で構成していますが、中学校、高等学校志望の方にも活用いただける内容となっています。

テーマ

本誌はどこからでも読み始めることができます。まずはテーマを見て、気になった内容があったら、そこから学習をはじめましょう。

書き込み欄

上の予想質問に対しての自分だけのオリジナル回答を書き込みましょう。メモ書き程度でもかまいません。とにかく「書く」ことが大事です。

ポイント

回答のポイントを示しています。教師としての視点をここで養いましょう。

第一部

学級担任としての資質が問われる場面

001 名前の呼び方

学級担任として最初の仕事は、子どもの名前を呼ぶことです。名前の呼び方はどのようにすればよいですか。ルールはありますか。

あなたならどう答えますか？

Handwriting practice area with a pen icon and dashed lines for writing.

Point



- 1 名前の呼び方を指導要録で確かめて、間違えないように呼びます。
- 2 「さん」「くん」と呼ぶことを基本とします。学級担任は名前を尊重する意識を明確にします。
- 3 日本語の特性として、「さん」「くん」のあとに暴言は使いつらくなることを理解しておきます。
- 4 「呼び慣れている」「いつもいわれているから平気」という名前の呼び方ではなく、学級担任としての明確なビジョンをもって児童・生徒の名前を呼ぶようにします。
- 5 学級開きは、「名前の呼び方から始める」ことを認識して子どもたちとかわるようになります。

予想質問

面接や場面指導において聞かれる予想質問です。質問の内容をしっかりと理解することが大事です。

回答例

教員採用試験の面接・場面指導における回答例です。ここに掲載した内容はあくまで一例です。これをヒントにして、自分だけの回答をするよう心がけましょう。

回答例

Q1 あなたは学級担任として子どもの名前をどう呼びたいと考えていますか。

A1 私は、一人一人の名前を尊重することを第一として「さん」「くん」を使って呼ぶようにします。

Q2 そのような考えになったのは、どんな理由からですか。

A2 日本語の特性として「さん」「くん」と呼んだあとには、乱暴な言葉遣いにならないと学びました。まず、名前の呼び方を徹底して、言葉遣いに気をつけさせたいと考えています。

Q3 名前の呼び方には、ルールがあると思いますか。

A3 あくまでも学級担任の人権感覚、言語感覚によるもので、ルールはないと思います。

Q4 同学年の先生方から「さん」に統一して呼びましょう、という声があれば、どう答えますか。

A4 学年で「さん」に統一して呼ぶことは、よいことだと認識していますので、その根拠を理解しつつ、その旨を伝えま

Q5 逆に、名前の呼び方は担任がいいと思った呼び方にすればいい、という声があればどうしますか。

A5 私は、名前は尊重されるべきであり、いろいろな呼び方とするのではなく、「さん」「くん」で呼ぶことが望ましいと判断している、ということをお伝えします。

● 面接の応答は簡潔に答え、敏切り型にならないよう、一工夫を心がけましょう。面接官は、あなたが学級担任としてどのような学級運営の第一歩を踏みだすのか、聞いています。ひとつづつよいので、理由を含めて話せるようにしておくことが大切です。

● 日本語の特性にふれることができれば、高評価を得ることができます。

● 人権感覚、言語感覚の課題として名前の呼び方を位置づけることができれば、面接官が教師として任せたいと思える表現となります。

● 児童・生徒の名前の呼び方ひとつで、教師としての意識レベルがわかります。

ミニ解説

回答例について解説します。なぜこのように答えるのか、回答の意図することや根拠などをここでおさ